



スター・ウィーク ~星空に親しむ週間~ 8月1日~8月7日

2020年のキャッチコピー

~100点満天の夏休み~

大阪府・山下祐輝さん作

★まずは、アイテムを用意しよう★

星はいつでも見られるけれど、ちょっとしたアイテムがあると、より楽しく星を見ることができます。

- 夜は暗い→懐中電灯
(赤いセロファンをはっておこう)
- 大地に寝転がって星を見よう→マット
(ただし、安全な場所に寝転がってね)
- 夏でも夜は冷えるよ→あたたかい服
- その他→虫よけ、時計、などなど

◆望遠鏡や双眼鏡はなくてもだいじょうぶ！
探検マップには、おすすめポイントをどんな方法で見たらいいのか、アイコンをつけています。

- 自分の目で見てみよう
- 双眼鏡で見ると
- おもしろいもの
- 望遠鏡があると見える



主催:スター・ウィーク実行委員会
後援:自然科学研究機構 国立天文台
公益財団法人 天文学振興財団
協力:PAONavi準備委員会、日本アマチュア天文台協議会
日本公開天文台協会
<http://starweek.jp/>
~2020年版~

Aug.
1st-7th

(C)copyright 1995-2020, StarWeek Project

施設・団体名を入れて
イベントなどお配り下さい

スター・ウィークの
テーマソングは、
フクアリソングの
「COSMOS」
フクアリソングは
楽しい星空を
一緒に歌おう
美しい星空を
楽しんでください！



★スター・ウィークとは...
パート・ウィーク(愛鳥週間)があるのなら、
「スター・ウィーク」があってもいいな...
子ども大人も、だれもが気軽に
星空を見上げてほしい、
星空に親しむ週間です。
そんな想いから始まった
星空に親しむ週間です。

★スター・ウィークは今年で26回目
1995年からはじまったスター・ウィークは、今年
・2020年で26回目を迎えました。
みなさんが、気軽に星空を見上げるきっかけになる
ことができれば、とてもうれしいです。

★伝統的七夕を楽しもう★
7月7日の七夕は梅雨のくもり空で、なかなか星が見
えませんね。実は、江戸時代まで使われていたカレ
ンダーは、現在のものとは仕組みがちがいで、日付も1
か月ほどずれがあります。
昔のカレンダーでの7月7日(伝統的七夕)は、今年は
8月25日。月遅れの七夕(8月7日)も入れると、あと
2回七夕を楽しめます。
部屋や身の回りの明かりを消して、普段より暗くな
った夜空で、昔の人たちの気持ちになって七夕を楽
しんでみませんか？

★2020年も木星と土星を見よう
今年のスター・ウィークの時期は、
木星と土星が並んで見えます。
望遠鏡があれば、2つの惑星の
様子を見比べる事ができます。
肉眼でも、明るく輝く姿が楽し
めます。

